

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 鏡川流域でつながろう！「かがみがわ大交流会 2026」

2月28日(土)に、「かがみがわ大交流会 2026」と題し、県内外の鏡川流域関係人口が集う現地交流会を開催しました！

午前中を鏡川みどりの広場で過ごした参加者の自分なりの楽しみ方の共有、関係人口による取組を可視化すべく制作した「関係案内ブック」の紹介、高知市立義務教育学校土佐山学舎の児童による鏡川に関する学習発表会など、盛りだくさんの内容となりました^^



会場は、高知市役所2階にある食堂レストラン「せんだんの木」。高知市内はもちろん、県外からも9名の参加がありました！

参加者のお住まいの地域のお土産や文旦、芋けんぴといった高知県の名産品、さらに高知市内の参加者の皆さんが関係人口の方々に食べてもらいたい食材を持ち寄って作ったお鍋等が机に並び、参加者の皆さんの自然な思いやりから昼食会が始まりました！北海道から参加した高野さんと「あいのまま」さんは、北海道バージョンのミレービスケットを見つけて大喜びしたそうで、交流会にも持ってきてくれました^^

昼食後には、午前中を鏡川で過ごした参加者から、「鏡川沿いで楽器を奏でた」や「珈琲を淹れた」といった発表があり、様々な鏡川への関わり方を知ることができました！

午前中の様子を収めた写真や動画も流され、大きなセダンの木にぶら下がっている写真が映されると、「あの木は登りたくなるよね」といった会話も聞こえてきました♪ 午前中は参加できなかった方々にも、鏡川で過ごす楽しさがしっかりと共有された時間となりました！



関係案内ブック「どぶれるC!」の紹介では、作成に携わった関係人口の皆さんの想いや経過を聞き、人とつながっていく過程を大切に「コミュニティ」が鏡川流域にあることを確認しました。情熱が詰まった「どぶれるC!」を多くの方々に見ていただきたいです！

掲載URL: [https://www.city.kochi.kochi.jp/uploaded/life/256700\\_1097919\\_misc.pdf](https://www.city.kochi.kochi.jp/uploaded/life/256700_1097919_misc.pdf)

土佐山学舎4年生による鏡川についての学習発表会も行われました！鏡川に生息する動植物に関するクイズや鏡川の歴史紹介など、1年間かけて調べたことがよく伝わる発表内容でした。きれいな鏡川を100年後に残すためにできることとして、「鏡川を大好きになる!」や「関係人口を増やす!」という発表に大きな拍手が送られました^^ また、本課課長から鏡川清流保全の取組についての話もありました。



最後は、鏡川で今後やってみたいこと、鏡川に「どぶる(夢中になる、飛び込む)」人を増やすためにできることについて、全員でフリートーク。参加者の意見を聞きながら、一人ひとりが鏡川に関心を持ち続けることで鏡川の未来を形作っていく、そんな可能性を感じることができました。

今後も鏡川流域関係人口のつながりを深め、鏡川流域の「これから」を一緒に描いていきましょう！

総勢28名の参加がありました！

北海道、東京都、茨城県、神奈川県、岡山県、高知市からお越しいただいた皆さま、ありがとうございました！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android